

市議会 活性化

今、求められる議会の役割とは

明石市議会では、議会機能の充実を目指して明石市議会基本条例の制定に向けた取り組みを進めています。また、市議会議員の定数および報酬についても検討しており、この度、中間報告をまとめました。内容については、11月10日～16日に開催する議会報告会等でお知らせし、市民から意見を聞くことにしています。(議会報告会の日程等は1面参照)その後さらに検討を進め、本年度中に結論を出す予定です。

議員定数・報酬の見直しの中間報告

くわしい内容は明石市議会ホームページに掲載

議員定数
現在は31人

7つのポイントで検討しています

ポイントの内容	特別委員会での各委員の意見
人口規模 人規 明確に市民の意見を市政に反映するための人口規模に応じた定数を考える ※現在の市の人口は約29万人	<ul style="list-style-type: none"> 人口1万人に議員1人とした定数とする 人口5千人に議員1人とし、定数は増やすが報酬は大幅減とする 人口規模からは定数の判断はできない
委員会審査 委員会審査を中心とした議会運営、十分な審査を行うための定数を考える ※現在は4つの常任委員会があり、定数は7～8人	<ul style="list-style-type: none"> 委員会機能の強化を図り、十分な審査を行うために必要な委員会数と委員数の検討が必要 ※議員定数=(委員会数×委員数)+議長
監視機能 二元代表制のもと、市政の監視を的確に行い、適正な執行を確保するために必要な定数を考える	<ul style="list-style-type: none"> 極端な定数削減は監視機能や民意の反映の低下につながる 監視機能強化のためには議員数は多い方が良い
他市と比較 県下各市や人口規模、財政状況が類似している市との比較で定数を考える	<ul style="list-style-type: none"> 他市と比較して突出した定数にすべきではない 他市との比較だけで判断すべきではない
財政状況 市の厳しい財政状況を踏まえて定数を考える	<ul style="list-style-type: none"> 財政が厳しい中、議会も経費削減が求められている 定数増とする場合は報酬削減と合わせて議論すべき 議会経費の削減だけを考えると定数を議論すべきではない
市民意見の反映 市民アンケートや議会報告会などで出た市民の意見を尊重して定数を考える	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートの結果を考えると削減の方向で検討すべき 議会を変えるために定数を増やすという考え方もできる 削減ありきの世論に流されるのが良いとは限らない
地域 市民の多様な意見を市政に反映するため、地域コミュニティを形成している小学校区単位(28地区)を基本とした定数を考える	<ul style="list-style-type: none"> 1小学校区に議員1人とする案は一定の根拠となるが、議論を深める必要がある 校区ごとの人口が異なるので、小学校区当たり議員1人とするのは難しい

議会基本条例 平成25年度中の施行を目指す
市長・市民との関係など12の論点で検討中

明石市議会では、市議会の役割や責務、活動原則を定める議会基本条例の制定に向け、本年3月に議会活性化特別委員会を設置し、平成25年度中の施行を目指して取り組みを進めています。

議会は法に基づき市の重要な方針の決定や事務執行の監視などを行って

市民福祉の向上を図ることを目的としています。現在、特別委員会では、基本理念や議会および議員の活動原則、市長・市民との関係など12の論点で検討を行っています。

論点のうち、市長との関係では、議会と市長が対等な立場であることを踏まえ、市長からの情報提供の方法や本会議等における質問の在り方などを検討しています。

また、市民との関係では、請願および陳情を市民からの政策提言と捉え、今まで以上に市政に反映するよう取り扱うことや、議会報告会の在り方、議案に対する議員の賛否の公開も含めた広報広聴の充実などについて議論しています。

今後、検討内容を骨子案としてまとめ、市民の意見を反映し、条例案を策定する予定です。

議員報酬
現在は
60万2,000円

4つのポイントで
検討しています

特別職報酬等 審議会との関係

これまでは審議会の答申に基づき改定してきたが、今後もこの方針を継続するのか

他市との比較

県下各市や類似市との比較で報酬を考える
◎県下29市中 6位
類似40市中 10位
(平成24年4月1日現在)

財政状況

市の厳しい財政状況を踏まえて報酬を考える
◎平成24年度の議会費の割合は一般会計予算の0.69% (他市と比較しても同程度)

議員活動

議員本来の活動に値する金額はいくらが妥当かという観点から報酬を考える

※特別職報酬等審議会…市長や議員などの報酬の在り方を審議する市長の諮問機関

活性化特別委員会の開催予定

11月12日(月) 午後1時
11月21日(水) 午前10時

議員定数・報酬をめぐるこれまでの主な動き

昭和30年5月 議員定数36↓24へ減
(財政再建団体からの脱却の取り組みとして削減)

昭和43年4月 議員報酬6万円↓10万円へ増(以降、現在まで16回の改定を行い、平成19年以外は特別職報酬等審議会の答申に基づき改定)

昭和46年5月 議員定数24↓33へ増
(財政状況の改善、市の規模が拡大)

平成6年4月 議員報酬63万8千円↓
平成15年5月 議員定数33↓31へ減
(行財政改革の取り組みに合わせ削減、現在に至る)

平成19年4月 議員報酬65万6千円↓
平成21年4月 議員報酬62万3千円↓
平成23年8月 議員報酬62万3千円へ増
平成23年9月 地方自治法の議員定数
平成23年9月 議会の活性化推進会議を設置(定数・報酬について検討)

平成23年12月 定数・報酬について市
民アンケートを実施
平成24年3月 市長提案の議員定数削減案(31↓30)を否決
議会活性化特別委員会を設置(定数・報酬について検討)

平成24年4月 議員報酬62万9千円↓
60万2千円へ減(現在に至る)

編集後記

9月定例会初日に父が亡くなった。寡黙で趣味も無く仕事だけの人で、本人がいなくなると父のいた形跡は何もなくなった。思えば

会話した覚えもあまりない。思い出したのは小さい頃つないだ手の感触。固くてさらさらだった。父と私の思い出はあのさらさらだけだが、まあそれで十分気がする。(さ)

12月定例会の日程

本会議は
12月3日(月)午前10時
※10日(月)午前10時
※11日(火)午前10時
※12日(水)午前10時
21日(金)午後3時
※は議案質疑および一般質問日

本会議は明石ケーブルテレビ717ch(ミルルチャンネル)で生中継されます。
放送に関するお問い合わせは明石ケーブルテレビ
☎ 0120-135-084

「まだまだこれからだ」
議会活性化特別委員会は、3月に設置してから約7カ月間、10人の委員がそれぞれに熱い思いと信念を持って議論しています。そのため、会議は毎回長時間となりますが、それでも時間が足りません。さて、市議会には権限が市長一人に集中する予算編成や行政運営を監視するとともに、市政が真に市民の生命と財産を守り、市民生活を安全で豊かにするための方針性を決めるといふ大きな役割があります。より多くの民意を反映した意思決定を下すためには、議員が多様な意見を持ち寄り、議論を尽くし、最終的にはできる限り全員が合意しなければなりません。現在検討している議会基本条例は、議会の役割や意思決定までの仕組みなどを定め、市民に示すことを目的としています。

市議会は今までも、本会議のインターネット中継などさまざまな活性化の取り組みを行ってきましたが、昨年度の市民アンケートなどで大変厳しい意見をもらい、「まだまだこれからだ」と切に感じたところです。これからも、市民との情報共有を図りながら、市議会の機能を十分に発揮できるように議会の活性化に取り組んでいきます。



明石市議会活性化特別委員会
委員長 梅田 宏希

在職5期。議長、副議長、監査委員、建設企業常任委員長などを歴任。60歳。